

Title	タイ語のtɔɔn, weelaa, mûa, naiの用法 : 時間との関係において
Author(s)	宮本, マラシー
Citation	大阪外国語大学論集. 2 p.17-p.37
Issue Date	1990-03-31
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/79477
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

タイ語のtɔɔn, weelaa, mûa, naiの用法 —時間との関係において—

宮 本 マラシー

USAGES OF TIME-INDICATING WORDS “TɔɔN”, “WEELAA”, “MŪA”, “NAI”

Marasri MIYAMOTO

The purpose of this paper is to study usages of time-indicating Thai words “tɔɔn”, “weelaa”, “mûa”, “nai”. The results of the study show that the usages of these words are normally found depend on specific situations of times describing in various words. Moreover, these words are especially functioned to determine different exact states of times: “tɔɔn” is used when referring to an approximate point of time; “weelaa” to an accurate point of time, a period of time and time in general; “mûa” to a specific point of time; and finally “nai” to a restriction point and period of time.

は じ め に

時の流れは人により、様々な単位によって分割されたり、秩序付けられたり、組織だてられたりする。¹⁾ そういった構造化された様々な形の時は、英語ではtime、日本語では「時間」、そしてタイ語ではweelaa、という言葉で表現される。そして、「時間」において大切なことは、それが時点[英語の場合は、a point of time、タイ語の場合は、จุดของเวลา (cùt khǒng weelaa)]と、時点と時点との間を流れる時の量である時間、又は、期間[英語には、a period of time、タイ語には、ช่วงเวลาของเวลา (chûa khǒng weelaa)]、という2つの要素を含むということである。その時間、と時点が文章において表現されるとき、英語には、in, at, on, when、日本語には、に、で、～時、というような、時の前置詞、あるいは、接続詞、あるいは助詞、等の言葉を用いて表現されるのが普通である。それらの種類の言葉に相当するタイ語には、

toon, weelaa, mûa, naiと言う言葉がある。これらの言葉の使い分けは、例えば、「Aさんは先月の10日に結婚しました。」と、「Aさんは来年の2日に結婚します。」という表現には、日本語は両文とも「に」を使用することができるのに対し、タイ語では、「คุณเอดังงานเมื่อ (mûa) วันที่๑๐เดือนที่แล้ว」と、「คุณเอดังงานใน (nai) วันที่๒เดือนหน้า」のように、前者は「mûa」、後者は「nai」を用いる。又「เขาดูทีวีตอน (toon) ฉันอ่านหนังสือ」(私が本を読んでいるときに彼はテレビを見た。)、「เขาดูทีวีเวลา (weelaa) ฉันอ่านหนังสือ」(私が本を読んでいるときにいつも彼はテレビを見る。)、そして、「เมื่อ (mûa) เขาดูทีวีฉันอ่านหนังสือ」(彼がテレビを見たときに私は本を読んでいた。)というように、同じような文の構造であるが、それらの言葉によって、表現される内容は微妙に変わっていく、等のように、それらの言葉の使い分けは簡単なことではない。現在教えている学生たちの作文を見ても、それらの言葉の使い分けが問題になっているのが分かる。そのため、私自身が手紙を書くとき、会話をする時、他のタイ人の手紙、会話、新聞、雑誌などに表われるそれらの言葉の用法、意味においての使い分けを観察し、様々な用例を集め、更に、普段日常生活では一般に耳にすることのない言葉使いをした文型を作成し8名のタイ人の意見を求めた。その8名の内訳は次のとおりである。

性 別	……	女性 5 名	男性 3 名
職業別	……	大学の教官 3 名	大学院の学生 5 名
専門別	……	言語学 3 名	歴史学 1 名 工学 3 名 情報工学 1 名

なお、それらの言葉の機能と用法について、ブレンダーウパキットは、mûaとnaiは、一般的な時を言い表わす言葉の前に付けられる前置詞でありmûa..., kō...は、関連的に行なわれている二つことを言い表わす文の接続詞であることを示した。⁽²⁾そして、ナワワンは、khànthii, ráwàanthii, nai ráwàanthii, toon, mûa, weelaa, nai weelaa, nai weelaa thii, toonthii, weelaa thii,等は、前文で言及されていることと同時進行の内容を持つ後文の前に付けられる接続詞であり、そして特に、toon, mûa, weelaaは、時の前置詞としても使用されるということを説明した。⁽³⁾

ここに、私は、ブレンダーウパキットとナワワンの指摘を参考にしながら、上述の研究資料に表われるそれらの言葉の機能と用法を考察したい。

まず、それらの言葉の機能について説明したい。

toonについて

第一に、toon klaangwan (昼ごろ)、toon sām moon (3時ごろ)、toon pii 1975 (1975年あ

たり)、というような形で、時を言い表わす名詞の前に付けられ、前置詞として使われる。

第二に、*toon nīi* (このごろ)、*toon nán* (そのごろ)、*toon nóon* (あのごろ)、*toon nāi* (いつごろ)、*toon rēek* (始め頃)、*toon lǎng* (おわりごろ)、という形で、時を言い表わす名詞として使用される。

第三に「...*toon*...又は、*toon*...,... (...した時に...)」、というような形で、節と節とを結び付ける接続詞として使用される。

*weelaa*について

第一に、*weelaa cháo* (朝)、*weelaa14naalikaa* (14時)、*weelaa klaangkhuun* (夜)、等のような形で、時を言い表わす名詞の前に付けられ、前置詞として用いられる。

第二に、*weelaa*は、流れていく時を言い表わす名詞として使われることもあれば、*weelaa sân* (短期)、*weelaa naan* (長期) という形で、名詞として使われることもある。

第三に、*thúk weelaa* (いつも、いつでも) という形で、修飾詞として用いられる。

第四に「...*weelaa*...、又は、*weelaa*...,... (...する際、又は、するたびに...、など)」と、節と節とを結び付ける接続詞として使用される。

*mũa*について

第一に、*mũa cháo* (今朝)、*mũa wanthīi-sip* (10日に)、*mũa duan-thanwaakhom* (12月)、という形で、時を言い表わす名詞の前に付けられ、前置詞として使われる。

第二に、*mũa nán* (その時になったら) のように、指示形容詞の前に付けられ、語形の上では名詞であるが、修飾詞として使用される。

第三に、*mũa reoreonii* (この間)、*mũa kīinii* (先程)、等の形で、修飾詞として使われる。

第四に、「...*mũa*...、又は、*mũa*...,... (...した時に...、又は、...すれば...)」という形で、節と節とを結び付ける接続詞として用いられる。

*nai*について

第一に*nai wanthīi-hāa* (5日に)、*nai duan—miinaakhom* (3月に)、*nai sām—chūa moon* (3時間以内)、等のように、時を言い表わす言葉の前に付けられ、前置詞として用いられる。

第二に、*nai reoreonii*, *nai mǎicháanii* (近い内に)、という形で修飾詞として使用される。

第三に、「...*nai khànāthīi*... (...しながら...又は、...している間に...)、*nai ráwàang thīi*...,... (...している内に...)」のように、接続詞の前に付けられ、接続詞として使用される。

次は、tɔɔn, weelaa, mûa, naiの使い分けについて説明する。その前に言及して置く必要のある様々な時の種類を言い表わす言葉について説明して置きたい。ここに、言葉に表現される時の種類を次の3つに大別して見よう。

1. 時点：流れていく時を切り離したり繋いだりすることを言い表わす名詞と修飾詞である。例えば、

名 詞 — cháo (朝)、klaagwan (昼)、yen (夕方)、moog (～時)、naathii (分)、wiinathii (秒)、wancan (月曜日)、wanthii-săam (3日)、duan-mii naakhom (3月)、rúduu-rɔɔn (夏)、pii1989 (1989年)、など。

修飾詞 — rɛ̀ek (始めに)、lǎŋ (終わりに)

2. 時間：様々な単位に分割された時点と時点との間に存在する時を言い表わす名詞と修飾詞である。例えば、

名 詞 — sǎamsip-naathii (30分間)、sǎam-chûa moog (3時間)、sii-wan (4日間)、sii-rúduu (四季)、hāa-duan (5か月間)、hòk-pii (6年間)、など。

修飾詞 — sǎn (短い)、naan (長い)

3. 不定時：客観的、具体的時点ではない。基になる時点に相対し、示される主観的な時を言い表わす名詞、修飾詞、と接続詞である。例えば、

名 詞 — mûawaannii (昨日)、wannii (今日)、phrûgnii (明日)、aathít-nii (今週)、aathít-thiiléo (先週)、aathít-nāa (来週)、duan-nii (今月)、duan-nāa (来月)、duan-thiiléo (先月)、pii-nii (今年)、pii-nāa (来年)、pii-thiiléo (昨年)、dīaonii (今)、pàtcùban (現在)、adiit (過去)、anaakhót (未来)、wankòon (先日)、hāa-piikòon (5年前)

修飾詞 — reoreonii (まもなく)、māinaanmaanii (この間)、māicháanii (近い内に)、sàkkrûu (しばらく)、tākii (先に)、など。

接続詞 — khànthii (～している間に～)、ráwàanthii (～している内に)、など。

不定時を言い表わす言葉は、文において表現されるとき、名詞として使われても接続詞として使われても、修飾詞として使われても、前に何もつけずに使われるのが普通である。

例：

1. วันนี้(wannii) ฝนตกทั้งวันจึงไม่ได้ไปไหน
(今日は一日中雨が降っているから、どこへも行かない。)
2. สัปดาห์หน้า(sàpdaa nāa) เราจะขึ้นเล่มใหม่
(来週新しい本を始めます。)
3. คนข้างบ้านให้มาตั้งแต่เดือนที่แล้ว(duan thiiléo)
(先月、近所の人にもらった。)

4. คนส่วนใหญ่คิดว่าเศรษฐกิจของไทยปัจจุบัน(pàtcùban) ดีขึ้นมากแต่, ...
(現在、タイの経済状態はたいへんよくなったと大勢の人は思っているが…)
5. เธอจะกลับเมืองไทยปีหน้า(pii nâa)
(来年彼女はタイに帰ります。)
6. เขาหายเข้าไปในห้อง ลักขุ(sàkkhrûu) จึงออกมา
(彼は部屋の中に姿を消した。しばらくして、又出てきた。)
7. ตะกี้(tàkîi) ใครมาเคาะห้องฉัน
(先程、誰か私の部屋の戸をノックしたの)
8. ระหว่างที่(ráwàathîi) เขาทั้งสองรอเครื่องบินอยู่ ก็ได้พบกันโดยบังเอิญ
(飛行機を待っている間に、彼らは偶然に出会った。)

次は、以上の様々な時の種類に基づいて、様々な機能を果たすtoon、weelaa、mûa、naiの使い分けを考えていきたい。

前置詞として

toonは、toon cháoo(午前に)、toon klaay wan(昼間に)、toon sǎam-mooŋ(3 時に)、toon nǎa-nǎao(冬に)、のように、時点を言い表わす名詞の前につけられる。

例：

9. เจอกันตอนสามโมง (toon sǎam-mooŋ) นะ
(3 時に会いましょう。)
10. เขาชอบไปเมืองไทยตอนฤดูหนาว(toon rúduu-nǎao)
(彼は冬にタイへ行くのが好きです。)
11. ตอนกลางวัน(toon klaaywan) อากาศร้อนมาก
(昼間は大変暑いです。)
12. เราจะเริ่มก่อสร้างตอนเดือนมีนาคม(toon duan-miinaakhom)
(3 月に建設を始めるつもりです。)
13. คุณพันธ์เคยได้รับเลือกเป็นส.ส. ตอนปี๑๙๘๐(pii 1980)
(バンさんは1980年に当選したことがある。)

ただし、単に曜日だけを言及している文において使ったり、曜日のすぐ前にtoonをつけたりすることはできない。

例：

- [誤] 14. ฉันไปซื้อหนังสือมาตอนวันจันทร์(toon wancan)
(月曜日に本を買ってきた。)

- [正] 15. ฉันไปซื้อหนังสือมาตอนบ่ายวันจันทร์ (tɔɔn bàai wancan)
(月曜日の午後に本を買ってきた。)
- [誤] 16. ฉันไปเยี่ยมเขามาตอนวันศุกร์ที่๑๐ (tɔɔn wansùk thîi 10)
(10日の金曜日に彼女を見舞いにいきます。)
- [正] 17. ฉันไปเยี่ยมเขาตอน ๕ โมงเย็นวันศุกร์ที่ ๑๐ (tɔɔn 5 moon
yen wansùk thîi 10)
(10日の金曜日の5時に彼女を見舞いにいきます。)

又、様々な時点の前にtoonをつけることによって、それらの時点に幅や余裕ができ、又あいまいになる。つまり、

sǎam—moon (3時) —————> tɔɔn sǎam—moon (3時ごろ)

klaang wan (昼) —————> tɔɔn klaang wan (昼頃・昼間)

duan kanyaayon (9月) —————> tɔɔn duan kanyaayon (9月頃)

piil1989 (1989年) —————> tɔɔn piil1989 (1989年頃、1989年あたり)

等である。文においては幅ができたり、あいまいになったりするが、それほど意味はなく、又、口語においてはtoonを使うのが普通であるが、会話を交わす両者には、特に時点をはやかしているつもりはない。tɔɔnsǎam—moon (3時ごろ) は、つまり、sǎam—moon (3時) として話される。日本語によく使われる「ぐらい」、「あたり」、「ごろ」とよく似ている用法である。そのため、toonは会話、又は、手紙などの非公式な文章でよく使われるが、公式的な文章には使われない。

toonは、又、時間と不定時を言い表わす名詞の前にはつけられない。tɔɔn hǎa wan (5日間)、tɔɔn phrûgnii (明日)、tɔɔn pàtcùban (現在)、等は、普通使われない。

weelaaは、1日24時間の中に存在する様々な時点と言い表わす名詞の前につけられるが、それ以外の時点の前にはつけられない。

例：

- [正] 18. คุณสมชายออกจากบ้านเวลา๙โมงเช้า (weelaa kǎo mooncháo)
(ソムチャイさんは朝9時に家から出掛ける。)
- [誤] 19. คุณสมชายออกจากบ้านเวลาวันจันทร์๙โมงเช้า (weelaa wancan
9mooncháo)
(ソムチャイさんは月曜日の朝9時に家から出掛ける。)
- [正] 20. คุณสมชายออกจากบ้านเวลา๙โมงเช้าวันจันทร์ (weelaa 9mooncháo
wancan)
(ソムチャイさんは月曜日の朝9時に家から出掛ける。) 又は、

- [正] 21. วันจันทร์(wancan)คุณสมชายออกจากบ้านเวลา๙ โมงเช้า(weelaa 9moon cháo)
(月曜日ソムチャイさんは9時に家から出掛ける。)
- [誤] 22. คุณสมชายออกจากบ้านเวลาวันจันทร์ที่ ๕ เดือนเมษายน ๙ โมงเช้า
(weelaa wancan thîi hâa duan meesăayon 9 moon cháo)
(ソムチャイさんは、4月5日月曜日の朝9時に家から出掛ける。)
- [正] 23. คุณสมชายออกจากบ้านเวลา๙ โมงเช้าวันจันทร์ที่ ๕ เดือนเมษายน
(weelaa 9 moon cháo wancan thîi 5 duan meesăayon)
(ソムチャイさんは、4月5日月曜日の朝9時に家から出掛ける。)
- [正] 24. วันจันทร์ที่ ๕ เดือนเมษายน(wan can thîi hâa duan meesăayon)
คุณสมชายออกจากบ้านเวลา ๙ โมงเช้า(weelaa 9 moon cháo)
(4月5日月曜日ソムチャイさんは9時に家から出掛ける。)
- [誤] 25. บริษัทนี้จะเปิดเวลาเดือนกันยายน(weelaa duan kanyaayon)
(この会社は9月に開業します。)
- [誤] 26. มหาวิทยาลัยจะฉลองครบรอบ ๖๐ ปีเวลาเดือนเมษายน ปี ๑๙๘๙
(weelaa duan meesăayon pii 1989)
(大学は1989年の4月に創立60周年を祝う。)
- そして、過去形の文においての時点の前にもつけられない。
- [誤] 27. เขาเดินทางไปแล้วเวลาเช้า(weelaa cháo)
(彼は朝に出発しました。)
- [誤] 28. ได้เกิดเหตุการณ์ปล้นธนาคารB สาขาบางโพ เวลา๑๕นาฬิกา วันที่ ๒๔(weelaa 15 naalikaa wanthîi 24)
(24日、15時にB銀行バンポー支店で強盗事件が起こった。)

weelaaは、toonとは対照的に、主に新聞や官庁の公文書等のような公式的な文章に使用される。そのため、時計によって定められている時点においては、「～時」を言い表わす語としてmoonではなく、文語としてのみ使われる公式的な言葉である「～naalikaa」の前にはweelaaはつけられるのに対し、toonはつけられない。

例：

- [誤] 29. รถไฟออกจากสถานีตอน๑๑นาฬิกา(toon 11 naalikaa)
(電車は駅から11時に出る。)
- [正] 30. รถไฟออกจากสถานีเวลา๑๑นาฬิกา(weelaa 11 naalikaa)
(電車は駅から11時に出る。)

- [誤] 31. วันอังคารที่๑๕มิถุนายนตอน๑๔นาฬิกา(toon 14 naalikaa)พระบาทสมเด็จพระเจ้าอยู่หัวเสด็จพระราชทานปริญญาบัตรแก่ผู้สำเร็จการศึกษาจากจุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย
(6月15日火曜日、14時に、王様は、チュラーロンコーン大学の卒業生に学位証書を授与される。)
- [正] 32. วันอังคารที่๑๕มิถุนายนเวลา๑๔นาฬิกา(weelaa 14 naalikaa)พระบาทสมเด็จพระเจ้าอยู่หัวเสด็จพระราชทานปริญญาบัตรแก่ผู้สำเร็จการศึกษาจากจุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย
(6月15日火曜日、14時に、王様は、チュラーロンコーン大学の卒業生に学位証書を授与される。)

又、時間と不定時を言い表わす名詞の前にはweelaaは前置詞として使用されない。

mûaは様々な時点を言い表わす言葉の前につけられる。

例：

33. ผมไปดูหนังเรื่องนั้นมาเมื่อวันเสาร์(mûa wansǎo)
(私は、土曜日にその映画を見てきました。)
34. หนังเรื่องนี้เคยสร้างมาแล้วครั้งหนึ่งเมื่อปี๑๙๗๙(pii 1979)
(この映画は1979年に、一度製作されたことがある。)
35. เมื่อคืน(mûa khun) แกไม่ได้กลับมาอนบ้านนี้
(ゆうべお前は家に帰らなかったじゃない?)

ただし、時計上の時点を言い表わす言葉の前につける場合は、公式文章であれば、いつもmûa weelaa...naalikaa (～時)、非公式文章であれば、mûa toon...moon (～時) という形で使われる。

例：

- [誤] 36. พ่อกลับมาเมื่อ๒ทุ่ม(mûa 2 thûm)
(父は夜8時に帰ってきた。)
- [正] 37. พ่อกลับมาเมื่อตอน๒ทุ่ม(mûa toon 2 thûm)
(父は夜8時に帰ってきた。)
- [誤] 38. วันที่ ๑ มกราคม ๑๙๘๙ เมื่อ ๑๙ นาฬิกา(mûa 19 naalikaa)
อดีตนายกรัฐมนตรี S ถึงแก่อสัญกรรม
(1989年1月1日の19時に S元首相が亡くなりました。)
- [正] 39. วันที่ ๑ เมษายน ๑๙๘๙ เมื่อเวลา ๑๙ นาฬิกา(mûa weelaa 19 naalikaa) อดีตนายกรัฐมนตรี S ถึงแก่อสัญกรรม
(1989年1月1日の19時に S元首相が亡くなりました。)

のように、m̄uaは時点の前のにつけられるとき、それらの時点は最も近い過去の時点になる。

- cháo (朝) —————→ m̄uacháo (今朝)
 khuun (夜) —————→ m̄uakhuun (ゆうべ)
 wancan (月曜日) —————→ m̄ua wancan (この前の月曜日)
 n̄aaróon (夏) —————→ m̄ua n̄aaróon (この間の夏)
 wanthiisip (10月) —————→ m̄ua wanthiisip (この間の10日) など。

又、m̄uaは、時間を言い表わす名詞の前につけられないが、過去を示す不定時を言い表わす名詞の前にはつけられる。

例：

- [誤] 40. ผมไปหาหมอมาเมื่อสองวัน (m̄ua s̄wǎn wan)
 (2日間私は医者に診てもらった。)
 [正] 41. ผมไปหาหมอมาเมื่อสองวันก่อน (m̄ua s̄wǎn wan k̄wǎn)
 (2日前に私は医者に診てもらった。)
 [誤] 42. เมื่อ ๕ ปี (m̄ua h̄aa pii) มีคนญี่ปุ่นคนหนึ่งมาที่หมู่บ้านนี้
 (5年間一人の日本人が、この村を訪ねてきた。)
 [正] 43. เมื่อ ๕ ปีที่แล้ว (m̄ua h̄aa pii th̄iil̄éəo) มีคนญี่ปุ่นคนหนึ่งมาที่หมู่บ้านนี้
 (5年前に、一人の日本人が、この村を訪ねてきた。)
 [正] 44. เมื่ออดีต (m̄ua adiit) เธอเคยเป็นดาวจุฬาฯ
 (過去に、彼女はチュラー大の女王だったことがある。)
 [正] 45. เมื่อเดือนที่แล้ว (m̄ua duan th̄iil̄éəo) ขาดทุนไปตั้งแสนบาท
 (先月30万バツも損をした。)
 [正] 46. เมื่อวันก่อน (m̄ua wank̄wǎn) นั่งรถไฟผิด ไปสายตั้ง ๑ ชั่วโมง
 (先日、電車を乗り間違ったので、1時間ほど遅れた。)、など。

過去を示す不定時を言い表わす言葉以外の不定時には、例えば、m̄ua phrūn̄ii (明日)、m̄ua s̄apdaan̄ii (今週)、m̄ua piin̄aa (来年)、等のように、m̄uaは前置詞として使われることはない。

naiは、時点を言い表わす言葉の前につけられる。

例：

47. ฉันต้องทำให้เสร็จในวันอังคาร (nai wan an̄khaan)
 (火曜日に完成しなければならない。)

48. การแต่งงานที่จะมีขึ้นในเดือนสิงหาคมปีนี้(nai duan sǐnhǎakhom pii nii) ก็ต้องงดไป

(今年の8月に行なわれる結婚式は中止になった。)

49. โครงการนี้จะเสร็จในปี๑๙๙๐(nai pii 1990)

(このプロジェクトは1990年内に完成する。)

ただし、一日24時間の中に存在する時点を言い表わす言葉の前につける場合は、公式文章であれば、いつもnai wellaa...、非公式文章であれば、nai toon...という形で使われる。

例：

- [誤] 50. เขาบอกว่าจะโทรมาใน ๘ โมง(nai 8 mooŋ)

(夜8時に電話を掛けると言った。)

- [正] 51. เขาบอกว่าจะโทรมาในตอน ๘ โมง(nai toon 8 mooŋ)

(夜8時に電話を掛けると言った。)

- [誤] 52. เราจะแจ้งให้ทราบอีกทีใน ๑๘ นาฬิกา(nai 18 naalikaa)

(18時にもう一度お知らせいたします。)

- [正] 53. เราจะแจ้งให้ทราบอีกทีในเวลา ๑๘ นาฬิกา(nai weelaa 18 na alikaa)

(18時にもう一度お知らせいたします。)

- [誤] 54. การชุมนุมยุติลงในเช้าของวันที่ ๕(nai cháow khǎwŋ wanthîi 5)

(集まりは15日の朝に終わった。)

- [正] 55. การชุมนุมยุติลงในเวลาเช้าของวันที่ ๕(nai weelaa cháow khǎwŋ wanthîi 5)

(集まりは15日の朝に終わった。)

naiは、時間を言い表わす言葉の前にもつけられる。

例：

56. ฉันต้องกลับมาบริษัทอีกใน ๒ ชั่วโมง(nai 2 chûamooŋ)

(2時間内に又、会社に戻らなければならない。)

57. ฉันจะพยายามให้จบใน ๔ ปี(nai 4 pii)

(4年以内に卒業できるよう、一生懸命しなければならない。)

又、naiは不定時を言い表わす言葉の前にもつけられる。

例：

58. ในอนาคต(nai anaakhót) ไม่มีใครรู้ว่าตัวเองจะเป็นอย่างไร

(将来において、自分がどうなるか誰も分からない。)

59. คุณต้องนำมาคืนฉันในวันนี้(nai wannîi)

(今日中に私に返さなければならないよ。)

60. อย่างไรก็ตาม ความเป็นอยู่ของเขาในปัจจุบัน(nai pàtcùban) ดีขึ้น
มาก

(とにかく、彼の現在の生活は以前よりずっとよくなった。)

ただし、過去を言い表わす言葉の場合は、adiit (過去) という言葉以外の言葉の前にはつけられない。

例：

- [誤] 61. ผมกลับมาในเมื่อวานนี้(nai mûawaannii)

(昨日の内に僕は帰ってきた。)

- [正] 62. ผมกลับมาเมื่อวานนี้(mûawaannii)

(昨日僕は帰ってきた。)

- [誤] 63. ฉันใช้เงินไปตั้ง๒แสนบาทในเดือนที่แล้ว(nai duan thiiléəo)

(私は先月ひと月で20万バーツも使っちゃった。)

- [正] 64. (เมื่อ) เดือนที่แล้ว[(mûa) duan thiiléəo] ฉันใช้เงินไปตั้ง๒
แสนบาท

(先月私は20万バーツも使っちゃった。)

naiは、様々な時点、時間そして不定時の前の前置詞として使用されることによって、それらの時が枠をつけられたり、制限されたりするようになる。

wanthii hâa (5 日)	——→	nai wanthii hâa (5 日の内)
săampii (3 年間)	——→	nai săampii (3 年以内)
wancan (月曜日)	——→	nai wancan (月曜日中)
piil1989 (1989 年)	——→	nai piil1989 (1989 年内)

—など—

以上、前置詞として使用されるtoon, weelaa, mûa, naiの使い分けを説明した。次は名詞としてのそれらの言葉の使い分けを説明する。

名詞として

toonは、toon nii (そのごろ、今頃)、toon nán (そのころ)、toon nóon (あのこと)、toon năi (いつごろ)、という形で、指示形容詞の前につけられる。

例：

65. ตอนนี้(toonnníi) ฉันอยู่ในวงการนี้

(このごろ、私はこの業界で働いているが、...)

66. ทางเดินตอนนั้น(toonnnán) ไม่ค่อยมีคน

(そのころの道は、あまり人がいなかった。)

そして、toon rêek (始め頃)、toon lăŋ (終りごろ)、のように、rêek, tôn (始めに)、lăŋ (終りに)、と言う時点を示す修飾詞の前にもつけられる。

例：

67. ตอนแรก (toon rêek) เขาฉุกเฉินขึ้นมาทันที
(初めごろ、彼は急に腹を立てたが、...)

68. ตอนหลัง (toon lăŋ) พี่เริ่มเข้าใจในคนพวกนี้ขึ้น
(終りごろになって、これらの人達を理解するようになった。)

toonは、sân (短い)、naan (長い) というような時間の性質を示す修飾詞、そして、不定時を示す修飾詞の前にはつけられない。

例：

[誤] 69. เป็นตอนนาน (toon naan) ที่เราไม่ได้พบกันเลย
(長い間私達は全然会わなかった。)

[誤] 70. ตอนเร็ว ๆ นี้ (toon reoreoníi) ฉันได้ยินว่าอาจารย์ท่านจะไม่สบาย
(この間、田中先生が病気だと聞きました。)

weelaaは、単独の名詞としても使われる。

例：

71. เวลา (weelaa) เป็นเงินเป็นทอง
(時は金なり。)

72. ฉันไม่มีเวลา (weelaa) สำหรับคุณหรอก
(私には、あなたのための時間がないですよ。)

時間を言い表わす言葉の前にもつけられる。

例：

73. จากนี้ไปเป็นเวลา ๒ ชั่วโมง (weelaa 2 chûamoon) ขอเชิญท่าน
หาความ สำนึกได้จากการแสดงของเรา
(これからの2時間、我々の演技をごゆっくりお楽しみ下さい。)

指示形容詞の前にもつけられる。

例：

74. เวลานั้น (weelaa nán) ไม่มีใครสนใจเขาอย่างนี้
(今と違い、そのとき、彼に関心を持つ人は誰もいなかった。)

ただし、時点を示す修飾詞と不定時を示す修飾詞の前にはつけられない。

例:

- [誤] 75. เวลาแรก (weelaa rĕk) ที่พบเขาฉันรู้สึกไม่ถูกชะตาเลย
(初めて会ったとき、全然気が合わなかった。)
- [正] 76. ตอนแรก (toon rĕk) ที่พบเขา ฉันรู้สึกไม่ถูกชะตาเลย
(初めて会ったとき、全然気が合わなかった。)
- [誤] 77. ฉันขายไปแล้วเวลานี้นานมานี้ (weelaa mǎi naan maa níi)
(この間、私は売ってしまった。)
- [正] 78. ฉันขายไปแล้วเมื่อไม่นานมานี้ (mǎa mǎi naan maa níi)
(この間、私は売ってしまった。)

指示形容詞の前につけることにおいて、toonはweelaaと違う意味を持つ。toon níi (このごろ)、toon nán (そのごろ)、toon noon (あのごろ)、toon nǎi (いつごろ) は、weelaa níi (現在)、weelaa nán (当時)、weelaa noon (あのとき)、weelaa nǎi (いつ) より、時点に余裕や幅がある。

mǎaは、名詞として使用されない。指示形容詞の場合、níi (この)、noon (あの)、nǎi (どの)、の前にはつけられないが、nán (その)の前のみつけて使われることがある。mǎa nán (そのときになったら) のように語形の上では名詞であるが機能はそうではなく、接続詞として使用される。

例:

- [誤] 79. เมื่อนั้น (mǎa nán) ฉันไม่มีเงินเลย
(その時私は全然お金を持っていなかった。)
- [正] 80. ตอนนั้น (เวลานั้น) [toon nán (weelaa nán)] ฉันไม่มีเงินเลย
(その時私は全然お金を持っていなかった。)
- [正] 81. ...ถ้าผู้หญิงลักษณะนี้เพิ่มขึ้นละก็ เมื่อนั้น (mǎa nán) เมืองไทยก็จะมีนายกเป็นหญิง
(...そのタイプの女性が増えてくようになったら、タイにも女性の首相が誕生すると思う。)
- [正] 82. ถ้าคุณทำได้อย่างนี้เมื่อไร เมื่อนั้น (mǎa nán) คุณจะประสบความสำเร็จ
(これができるようになったら、あなたも成功すると思う。)

例81と82のように、mǎa nánは、weelaa nán、toon nánと違って、「そのとき」という意味で使われるのではない。ある行動又は状態がある時点に達すると、その時点に、もう一つの行動又は状態が関連的もしくは必然的に行なわれる、又は、なるという場合に使われる。

naiは、名詞として使われない。

修飾詞として

toonは修飾詞として使用されないが、weelaa、mûa、naiは、不定時の前にのみつけられて使用されることがある。ただし、weelaaとmûaは「各～、毎～」といった意味の「thúk」という時の距離間隔を示す修飾詞の後につけられると「いつも、いつでも」という意味で使用される。

例：

83. จินอยากให้อ่องกงเข้าไปเป็นส่วนหนึ่งของจีนอยู่ทุกเมื่อ(thúk mûa)
(中国はいつも、香港が中国の一部に戻ることを望んでいる。)
84. กรุณาเรียกรับบริการของเราได้ตลอดเวลา(thúk weelaa)
(いつでも、我々のサービスを利用して下さいませ。)

しかし、thúk weelaa は話し手や送り手の都合においての時を中心に据えるのに対し、thúk mûaは聞き手や受け手の都合においての時を中心に据える。

例：

- [正] 85. สโมสรของเราเปิดบริการทุกวัน ยกเว้นวันอาทิตย์ ตั้งแต่เวลา ๙ นาฬิกาถึง๑๗ นาฬิกา เพียงแต่ท่านนำบัตรสมาชิกมา จะใช้บริการของเราได้ตลอดเวลา(thúk weelaa)
(我々のクラブは日曜日以外、毎日9時から17時まで開業いたします。
御客様は会員証さえお持ちになれば、いつでもご利用いただけます。)
- [誤] 86. สโมสรของเราเปิดบริการทุกวัน ยกเว้นวันอาทิตย์ ตั้งแต่เวลา ๙ นาฬิกาถึง ๑๗ นาฬิกา เพียงแต่ท่านนำบัตรสมาชิกมา จะใช้บริการของเราได้ทุกเมื่อ(thúk mûa)
(我々のクラブは日曜日以外、毎日9時から17時まで開業いたします。
御客様は会員証さえお持ちになれば、いつでもご利用いただけます。)
- [正] 87. ถ้าคุณพร้อม ผมยินดีทำให้ทุกเมื่อ(thúk mûa)
(あなたさえ都合がよければ、私はいつでも喜んでしてあげる。)
- [誤] 88. ถ้าคุณพร้อมผมยินดีทำให้ตลอดเวลา(thúk weelaa)
(あなたさえ都合がよければ、私はいつでも喜んでしてあげる。)

mûaは又、mûa mâinaanmaanîi (この間)、mûa kîinîi (先程)、mûa k'ònnîi (以前に) という形で過去を示す不定時の修飾詞の前にもつけられる。

例：

89. ไม่ต้องหรอกจะ แม่เพิ่งทานมาเมื่อกั๊น(mûa kîi níi)
(けっこうです。先程食べてきたばかりです。)

そして、未来を示す不定時以外の不定時を言い表わす修飾詞の前にもつけられ、それによって、その不定時が過去を示す不定時にされ、修飾詞として用いられる。

sàkkhrūu (しばらく) —→ mûa sàkkhrūu (先程)

reoreonii (間も無く) —→ mûa reoreonii (この間)

例:

90. เมื่อเร็วเร็วนี้(mûareoreonii) ที่มูลนิธิดวงประทีป คุรุประทีปได้แถลง
ข่าวเรื่อง การจัดงานวันเด็ก

(この間、D財団で、プラטיפ先生は今年の子供の日について記者会見をした。)

naiは、thúk (各～、毎～) という距離間隔の後ろにはつけられない。未来を示す不定時の修飾詞の前につけられる。

例:

91. ป็นใช้เงินอย่างนี้ ในไม่ช้า(nai mǎi cháa) ก็จะจนลงอย่างเดิมอีก
(こんなにお金を使ったら、まもなく、又、以前と同じように貧乏になるよ。)

そして、過去を示す不定時以外の不定時を言い表わす修飾詞の前にもつけられ、それによって、その不定時が未来を示す不定時にされ、修飾詞として使われる。

reoreonii (まもなく) —→ nai reoreonii (この近い内に)

例:

92. รัฐบาลรับปากจะจัดการเรื่องปัญหาข้าวในเร็ว ๆ นี้(nai reoreonii)
(政府は近い内に米の問題を解決すると約束した。)

次は接続詞として使われるtoon、weelaa、mûa、naiについて観察する。

接続詞として

toon、weelaa、mûa、naiは節と節とを結び付ける接続詞としても使用される。toon、weelaa、mûaはそのままの形で使われるのに対し、naiは不定時を示す接続詞の前につけられ、接続詞として使用される。

ある行動が行なわれている間に別の行動が行なわれる、又、そこに、ある状態があり、もう一つの状態が起きる場合に、toonはそれらの行動または状態を言い表わす節と節との間の接続詞として使用される。この場合は、それらの行動または状態が言及される文には時の幅の差が見られる場合と見られない場合がある。時の幅の差が見られる場合、toonは、時においての幅がより広い行動または状態を言い表わす節の前につけられるのが普通である。

例:

- [正] 93. ตอนยังมีชีวิตอยู่(toon yaṇ mii chiiwít yùu) ก็ต้องเลี้ยงกัน
ต่อไป

(生きている間は、面倒を見なければならない。)

- [誤] 94. ตอนต้องเลี้ยงกันต่อไป (toon tǔwǎn lǐaŋ kan tǔwǎn pai) เขา
ยังมีชีวิตอยู่
(面倒を見ている間は、彼は生きている。)
- [正] 95. ฉันเห็นเขา ตอนนั่งอยู่ในรถเมล์ (tǔwǎn nǎŋ yùu nai rót mee)
(バスの中にいる間に、彼が見えた。)
- [誤] 96. ฉันนั่งอยู่ในรถเมล์ ตอนเห็นเขา (tǔwǎn hǎn kháo)
(彼が見えたとき私はバスの中にいた。)

そして、元々各節における行動または状態に時の幅の差が見られない場合、toonが前につけられた節は、そのことによって、その節で言い表わされている行動、又は状態のときにおいての幅が一つに接続された節での基礎となる。

例：

97. น้องอ่านหนังสือ ตอนฉันดูทีวี (tǔwǎn chán duu thiwi) (私がテレビを見ている間に、妹は本を読む。)
98. ฉันดูทีวี ตอนน้องอ่านหนังสือ (tǔwǎn nǔwǎn àan nǎŋ sǔu) (妹が本を読んでいる間に、私はテレビを見る。)
99. เขามาตอนคุณออกไปซื้อของ (tǔwǎn khun wǎk pai sǔu khǔwǎn) (あなたがお買い物へ行っている間に彼が来た。)
100. ตอนเขามา (tǔwǎn kháo maa) คุณออกไปซื้อของ (彼が来ている間にあなたはお買い物へ行く。)

ある行動が行なわれるたびに、又は、その際に、もう一つの行動も常に関連的に行なわれる、あるいは、ある状態になるたびに、もう一つの状態も常に関連的に起きる場合、weelaaは前者のことを言い表わす節の前につけられ、後者のことが言い表わされる節との間を結び付ける接続詞として用いられる。そして、weelaaが使われる文には様々な種類がある。

第一に、これまでの経験によると、同じことが何回も繰り返し起こるので、これからも起こりうるだろうという、ある特定の場所、人物、物事の習慣性を言い表わす。

例：

101. เวลาประชุม (weelaa pràchum) สมาคมจะ (cà) เชิญนักวิชาการมาบรรยาย
(会議を行なうたびに、協会はいつも、学者を招待して、講義をしてもらいます。)

weelaaの代わりにtoonを使うなら、習慣ではなく、ある特定の時に行なわれるある特定の会議のことを示すことになる。

例：

102. ตอนประชุม (toon pràchum) สมาคมจะ เชิญนักวิชาการมาบรรยาย
(会議の時、協会は学者を招待して、講義をもらうつもりです。)

又、

103. เวลาอ่านหนังสือในรถไฟ (weelaa àan náy sǔu nai rót fai) ฉันจะ (ca) เวียนหัว

(電車で本を読んだら、いつも気分が悪くなる。)

という文も、weelaa の代わりに toon を使えば、

104. ตอนอ่านหนังสือในรถไฟ (toon àan náy sǔu nai rót fai) ฉันเวียนหัว

(電車で本を読んだとき、私は気分が悪かった。)、というようにそのときの状態しか言

及されない。

第二に、自然の成り行き、人間の性格、心理、等を言い表わす。

例：

105. เวลาเหนื่อย (weelaa nǜai) สมบัติจะ (cà) ไม่อยากพูดหรือเจอใคร
(疲れたとき、ソムバットはいつも誰とも話したくないし、誰にも会いたくない。)

106. มนุษย์เรา เวลาเจอคนรู้จัก (weelaa cǎo khon rúucàk) มักจะทักทาย

(人間は、知り合いに出会えば、とかく挨拶する。)

第三に、「…したから、…する」、「…するなら、…する」、「…する際…する」、というように、規則や条件を言い表わす文。

例：

107. เวลาเดินทางไปต่างประเทศ (weelaa dǎan thaah pai tǎa pràthēet) ต้องมีวีซ่า

(外国に入国の際、その国のビザを持つ必要がある。)

108. เวลาเข้ามาในวงการนี้แล้ว (weelaa khāo maa nai wongkan níi lǎeo) ก็ (kǎi) ได้ใช้

(この業界に入ってから、いつもこれを使える。) 又は、(この業界に入るなら、これを使える。)

mǎa は、2 つの行動又は状態が同時、又は、ほぼ同時に行なわれるとき、又は、起きるときに、それらのことを言い表わす文の接続詞として使われる。mǎa はどちらの節の前につけても間違いではないが、強調される節の前につけるのが普通である。

例：

109. ฉันนึกขึ้นได้เมื่อถึงบ้าน (mǎa thǔn bǎan)

(家に着いたとたん思い出した。)

110. เมื่อนึกขึ้นได้ (mǎa nǔk khǔn dǎi) ฉันถึงบ้านแล้ว

(思い出したときには家に着いていた。)

111. เมื่อเขาโทรมา(mûa kháo thoo maa) มะลิเพิ่งตื่นนอน

(彼が電話を掛けてきたとき、マリは起きたばかりです。)

112. เขาโทรมาเมื่อมะลิเพิ่งตื่นนอน(mûa málí phîṭ tûen nawn)

(マリが起きたばかりの時に、彼は電話を掛けてきた。)

mûaは、前節と後節に言及される行動又は状態においての時の幅の差が見られる場合には、時の幅がより狭い行動又は状態を言い表わす節の前につけられる。

例：

[誤] 113. เมื่ออยู่ในรถเมล์(mûa yùu nai rótmee) ฉันเห็นเขา

(バスの中にいるときに、彼が見えた。)

[正] 114. ฉันอยู่ในรถเมล์ เมื่อเห็นเขา(mûa hén kháo)

(彼が見えたときに、私はバスの中にいた。)

[誤] 115. เขามายกัว่ารถมาแล้ว เมื่อเราคุยกันอยู่(mûa rao khui kan yùu)

(我々がしゃべっていたときに、彼は車が来たと知らせに来了。)

[正] 116. เราคุยกันอยู่ เมื่อเขามายกัว่ารถมาแล้ว(mûa kháo bòk wâa rót maa lɛ́ɛo)

(彼が車が来たと知らせに来了ときに、我々はしゃべっていた。)

[誤] 117. ฉันมาถึงเมื่อเขายังล้างรถอยู่(mûa kháo yaṅ láaṅ rót yùu)

(彼がまだ車を洗っていたとき、私は着いた。)

[正] 118. เมื่อฉันมาถึง(mûa chán maa thǔṅ) เขายังล้างรถอยู่

(私が着いたとき、彼は、まだ車を洗っていた。)

mûaが接続詞として用いられる上述の場合には、過去を示す行動又は状態を言い表わす文でしか使用されない。つまり、現在と未来を示す行動、又は、状態を言い表わす文では用いられない。

例：

[誤] 119. เมื่อฉันต้องเลี้ยงเขา(mûa chán tǔṅ líaṅ kháo) เขายังมีชีวิตอยู่

(私が面倒を見なければならないときに、彼はまだ生きている。)

そして、ある行動が行なわれる、又はある状態になることによって、もう一つの行動も関連的に行なわれる、又は、もう一つの状態も関連的に起きる、ということを言い表わす場合に、mûaは前者のことを言い表わす節の前につけられる。この場合に言い表わされることの種類は2種類に分けられる。一つは、ある特定の時に具体的に行なわれたことを言い表わす。

例：

120. เมื่อแม่ไม่อยู่(mûa mɛ́ɛ mǎi yùu) พ่อก็(ก็) เป็นห่วง

(母がいなくなったとき、父は心配していた。)

121. เมื่อรัฐบาลไม่ช่วย (mûa râtthabaan mâi chûai) เราก็ต้องทำเอง
(政府は援助してくれなかったの、我々は自分でしなければならなかった。)

もう一つは、「…するなら…になる」という仮定を言い表す。

例:

122. เมื่อโตขึ้น (mûa too khûn) ลูกจะ (ca) รู้ว่าที่แม่พูดนั้นจริง
(あなたは大きくなったら、私が言ったことは正しいと分かる。)

123. เมื่อคนตกงานน้อยลง (mûa khon tòk naan nówi lon) เศรษฐกิจ (kít) จะดีขึ้น
(失業者が減ったら、経済状態もよくなる。)

mûaが使用された例120-123の文の構造は、weelaaが使用された例107と108の文の構造と同じであるが、例120-123の文にはmûaを使うことによってある特定の時に行なわれる特定のことしか言及されないのに対し、例107と108のような文には、一般の時に行なわれることも言い表わされる。

例:

124. เมื่อไม่ได้รับอนุญาต (mûa mâi dâi ráp anúyâat) ฉันก็ (kít) ลาไม่ได้
(許可を受けなかったから、私は休暇をとれませんでした。)

125. เวลาไม่ได้รับอนุญาต (weelaa mâi dâi ráp anúyâat) ฉันก็ (kít) ลาไม่ได้
(許可を受けなかったら、私は休暇をとれません。)

126. เมื่อตอบไม่ได้ (mûa tówp mâi dâi) นายก็ (kít) เงียบไว้
(返事ができなかったから、首相は黙っておいた。)

127. เวลาตอบไม่ได้ (weelaa tówp mâi dâi) นายก็ (cà) เงียบไว้
(返事ができないとき、首相は黙っておく。)

以上の場合に使われる mûa と weelaa は、ブラーウパキットが示したとおり、mûa、又は、weelaaがついていない節の主語の後にはとかく、cay、cà、kítと言う接続語がつけられる。

naiは、そのまま接続詞としては使用されないが、「…しながら…」、「…している間に…」という不定時を示す接続詞の前につけられ、ある行動が行なわれている間に、又は、ある状態になっている間に、もう一つの行動も行なわれている、又は、もう一つの状態も起こっている、というように同時に起こったことを言い表わす場合に、前者のことを言い表わす節の前に、接続詞として使用される。

例：

128. ในระหว่างที่รอเขาอยู่(nairáwàaŋthîi rɔɔ káo yùu) ฉันอ่านหนังสือจบไปหนึ่งเล่ม

(彼を待っている間に、私は本を一冊読み終わった。)

129. ฉันต้องเขียนจดหมายฉบับนี้ให้เสร็จ ในขณะที่ลูกยังหลับอยู่(nai khàna thîi lûuk yaŋ lăp yùu)

(子供がまだ寝ている内に、この手紙を書き終えなければならない。)

130. เพื่อน ๆ เธอมีรถขับทุกคน ในขณะที่เธอยังต้องไหนรถเมล์อยู่(nai khàna thîi thɔɔ yaŋ tɔ̀ɔ hǎon rótmee yùu)

(彼女はまだバスに乗らなければならないのに対し、友人達は皆マイカーを持っている。)

「...khanàthîi... (...している間に...)」、「...ráwàaŋthîi... (...している内に...)」という不定時を示す接続詞は普通naiをつけずに使われることもあるが、naiをつけることによって、言い表わされる時の枠が強調される。

結 び

以上の130の用例を示しながらtoon、weelaa、mûa、naiの用法を観察してきた。それによって得られた結果を、次のように簡単にまとめて置きたい。

toon、weelaa、mûa、naiは様々な時の種類により、使用法が決まり、前置詞、名詞、修飾詞、そして、接続詞として使い分けられる。そして、それらの言葉のそれぞれの用法によって、言い表わされる時に、幅ができたり、枠がつけられたり、特定されたりする。そのような様々な機能と用法に置けるtoon、weelaa、mûa、naiは次のような時の種類として使用されると考えられる。toonは、大雑把な時点を言い表わすのに使われるのに対し、weelaaは、明確な時点、時間そして一般の時、mûaは特定の時点、naiは限定される時点と時間を言い表わすのに使われる。

最 後 に

時におけるtoon、weelaa、mûa、naiの使い方は、上述以外に、又、様々な形で使われる。例えば、前置詞として使われるtoon weelaa、weelaa toon、toon mûa、そして、接続詞として使われるnai toon thîi、nai weelaa thîi、nai mûa、等である。又、mûaとweelaaが接続詞として使われる、仮定を言い表わす文において使われる場合と「...するなら...する」という一般の仮定の文において使われる場合との違い、等は、ここではまだ触れていないので、今後の課題としたい。

[註]

- (1) 中埜・肇、「時間と人間」1979、p. 52
- (2) Uppakit Silapasan, praya; "Lak Paasaa Thai", 1971; p.101,p.106.
- (3) Pantumeta, Nawawan; "Waiyakorn Thai" 1984;p061.

参 考 文 献

1. 柴田・武 「社会言語学の課題」三省堂、1978.
2. 中埜・肇 「時間と人間」講談社、1979.
3. Uppakit Silapasan, praya; "Lak Paasaa Thai", Thai Watanapanich 1971.
4. Pantumeta, Nawawan; "Waiyakorn Thai" 1984.

(1989. 11. 9 受理)